

【目次】

1. アーカイブ No.26

連載「日本労働会館物語」第 23 回 2011.02.28 発行の第 26 号に掲載
＜社会主義研究会前史—『六合雑誌』と安部磯雄＞

- 2/04(火) 出張講演・JAM 神奈川統一労働協約委員会・JAM 神奈川共催
2025 年「JAM 春季取り組み方針」説明会 36 名
- 2/10(月)～12(水) 出張講演・UA ゼンセン流通部門・ダイエーユニオン伝承
塾「枝垂桜②」6 名
- 2/19(水)～20(木) 出張講演・UA ゼンセン製造部門・大阪ソーダ労働組合
10 名
- 2/21(金) 団体見学・九州電力労働組合 鹿児島支部 17 名

過去に連載「日本労働会館物語」を掲載していました。メールレポート「友愛労働歴史館たより」第 184 号よりアーカイブから、可能なものを抜粋し、再掲載していきます。

1. アーカイブ No.26

連載「日本労働会館物語」第 23 回 2011.02.28 発行の第 26 号に掲載

＜社会主義研究会前史—『六合雑誌』と安部磯雄＞

＜社会主義研究会前史—『六合雑誌』と安部磯雄＞

前回の連載ではユニテリアン教会機関誌『六合雑誌』に社会主義、社会運動関連の記事・論文を執筆した人々として安部磯雄、片山潜、河上清、村井知至らを挙げ、特に片山潜について紹介いたしました。今回は『六合雑誌』に寄稿した安部磯雄の論文について紹介いたします。



挿論」などが投稿されます。

安部磯雄は「日本社会主義運動の父」とされ、1901（明治 34）年 5 月の社会民主党結成メンバーの中心人物です。彼の名前が最初に『六合雑誌』に登場するのは、明治 28 年 4 月の第 172 号「社会問題と慈善事業」です。次いで同 175 号に「トルストイ伯の宗教」、同第 177 号に「国家主義とは何ぞや」、同第 184 号に「社会主義に対する難問」、同第 195 号に「社会主義について」が掲載され、社会主義に関する論文が目立ちます。また、『六合雑誌』第 204 号に有名な「瑞西ト日本」、同第 207 号に「四福音書の研究」、同第 210 号に「過去崇

そして社会民主党の前身、社会主義研究会が結成された明治 31 年 10 月頃の『六合雑誌』第 213 号に「独占事業を国有とすべし」、同第 220 号に「キッド氏の『社会進化論』を表す」、同第 221 号に「社会問題上より救世軍を論ず」が発表されます。

また、明治 33 年 2 月の社会主義協会(社会主義研究会が改称)から社会民主党結成(明治 34 年 5 月。社会主義協会から発展)前後の『六合雑誌』には、安部の論文がいくつも掲載されています。即ち同第 229 号(明治 33 年 1 月)に「基督論」、同 232(明治 34 年 4 月)に「社会主義者としての基督」、同第 234 号に「個人的報酬と社会的報酬」、同 236 号に「救拯論」、同第 237 号に「死者の待遇と生者の待遇」、同第 238 号に「宗教の二方面」、同第 239 号に「宗教の普遍的性質」、同第 243 号(明治 34 年 3 月)に「ルボン氏著『社会主義の心理学』の批評」、同第 248 号(明治 34 年 8 月)「先駆者」です。

ところで安部は論文を発表するだけではなく、惟一館の日曜演説会にしばしば弁士として登場しています。明治 32 年 6 月の『六合雑誌』第 222 号の「惟一館の日曜演説」記事によれば、彼は同年 5 月 21 日に「ベラミー社会小説講義」、同 28 日「ベラミー社会小説(完結)」、同 6 月 4 日「英独二国大学の比較」、6 月 11 日「社会的礼儀」、同 18 日「基督教の哲学」、同 25 日「楽天主義の根拠」、7 月 2 日「家庭教育に就いて」、同 9 日「宗教的感情」などの講演を行っています。また、社会民主党結成の明治 34 年 5 月前後には「基督と社会主義」(3 月 3 日)、「労働者保護論」(4 月 28 日)、「無抵抗と寛容」(5 月 19 日)などの講演を行っています。

2. 2/04(火) 出張講演・JAM 神奈川統一労働協約委員会・JAM 神奈川共催 2025 年「JAM 春季取り組み方針」説明会 36 名

JAM 神奈川統一労働協の「2025 年 JAM 春季取り組み方針説明会」にご参集の労使 36 名。「日本労働運動の 100 年余」を受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を 60 分受講した。特に大きな争議から学んだ労使関係における団体労働協約の重要性、また同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学びました。

3. 2/10(月)～12(水) 出張講演・UA ゼンセン流通部門・ダイエーユニオン伝承塾「枝垂桜②」 6 名

2 月 10 日(月)～12 日(水) UA ゼンセン・流通部門ダイエーユニオンの伝承塾である「枝垂桜」塾の 6 名が来館。常設展示「日本労働運動の 100 年余」を

見学・受講。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を90分受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。さらに理解を深めるために、「日本労働運動の100年余から民主的労働運動を探る」と題して友愛会から連合に至る歴史的経過の詳細を受講。受講後は、展示室の見学と日本労働遺産の第一号に認定された「日本労働運動発祥之地」石碑とユニテリアン教会・惟一館煉瓦塀跡を見学し、記念撮影を行った。皆さんとっても熱心に受講し見学をしていました。

4. 2/20(木) 出張講演・UA ゼンセン製造部門・大阪ソーダ労働組合 10名

2/20(木) UA ゼンセン製造部門・大阪ソーダ労働組合の支部書記長を中心に10名の参加。「日本労働運動100年余」を期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学びました。各自歴史の重みと政治と労働組合の関係性に感心した様子でした。

5. 2/21(金) 団体見学・九州電力労働組合 鹿児島支部 17名

2月21日(金)九州電力労働組合・鹿児島支部より17名もの見学でした。あいにく館長が出張中ではありましたが、安部解説員からの解説とDVDの視聴を併用し、「日本労働運動100年余」を期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展などを見学。友愛会の旗(レプリカ)を持ち、日本労働運動の発祥の地の記念碑の前で記念撮影を行いました。皆さんとっても熱心に見学した様子でした。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行:友愛労働歴史館

責任者:藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

Tel.050-3473-5325

Eメール yuairedokishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairedokishikan.com>

惟一館から130年、友愛会から112年